

「会員のみなさん」年末諸課題への協力有難うございます
引き続き宜しく願います

会員の皆様には、年末にあたり「会長の訴え」を出し、「年末財政活動」と「署名の促進」を呼びかけましたが、いま、県本部へは連日の様に振り込み、署名が届いており大変感謝しております。

今年度は、新体制のもと、事務局体制も強化して、事務所機材も新しくするなど一定の財政支出もして、「同盟運動」前進のため、様々な努力もはじめております。

さて、来年の「国会請願」は、50回目の節目の「請願行動」となり、全国的にも「署名の取り組みを強めよう」と努力がはじまっています。

埼玉県は1万筆の目標を掲げ、年内40%の到達をめざして取り組んでいますが、現状は、昨年の同時期比では前進はしていますが、節目には程遠い状況です。いま、県本部は手分けして諸団体への申入れ活動も行っていますが、やはり目標達成のキは、全会員の皆様の取り組みにかかっています。

もう一回り二回り署名運動を広めて参りましょう。

次期総会までに、4百名の会員めざし、支部づくり、会員拡大にお力をお貸しください

今年も残すところ1カ月となりました。今年の「会員拡大」は、伊藤千代子の映画上映運動とも結んで大きな飛躍をつくろうと努力を重ね、11月末現在59名の新会員を迎え、これまでにない前進をつくつてきています。

8月開催された県本部総会では、「次期総会までに4百名に挑戦」24年県支部結成50周年に向けて5百名以上の県同盟実現を決めました。そのためには、これまでの2倍、3倍の取り組みが必要です。是非、お知り合いの方に入会をお勧めください。

新加入同盟員紹介 2名

坂口均 春日部市
小田美知代 春日部市

国会請願署名推進コーナー

【個人署名】 (292筆)

菊池博 (緑区) 10筆

年末募金ありがとうございます

飯塚頼夫、加藤ユリ、原田隆子、新井竹子、高田哲郎、小倉啓介、阿部勝、福田紀子、阿津澤武雄、鈴木千賀子、篠田健一、河村勝子、佐々木慶子、倉又孝夫、柿沼遥輝、小川始、新島善弘、和田義盛、金子幸弘、関口昌男、下村茂・すみよ、内藤宗助、小川美穂子、田中久子、永島民男、増子典男、鈴木三男、権田圭助、犬木茂好、宮地さか枝、生澤壮介、前田信良・則子、須田幾世志、梅野茂文、安保芙美子、柴崎ときえ、小池莊市・三枝子、宮前やす、青柳伸二、佐藤俊也、東山寿美子、嶋田好枝、伊藤初美、
(敬称略・11月末現在)

「治安維持法と現代」44号
好評発売中！ 年2回、
春・秋に発行 一部千円
「定期購読」申込受付中

お申込みは 県本部まで FAX 048-665-0094
治安維持法と現代 2022 秋号 No.44



「不屈」No582 付録 埼玉版 (No410)

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 埼玉県本部 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル3B 電話・Fax 048-824-0094 chian2022@gmail.com

埼玉にも「女性部」を確立しましょう

「全国女性交流会」に参加して 加藤 ユリ

11月6日〜7日まで湯河原で「不屈」のたかひを受け継ぎ、新「全国女性交流会」が3年ぶりに開かれる。全国から99名が参加しました。埼玉からは、私一人の参加になりましたが初めての参加で、全国の女性部の活動を聞き大変参考になりました。

吉田万三会長の開会のあいさつで、映画「わが青春つぎるとも」の上映運動のなかで、「治安維持法のことを知らなかった」との感想が沢山寄せられている。「重要な事は、次の世代にこの活動を引き継ぐ役割があり、実践を伴った活動が必要では」との問題提起に納得しました。

記念講演は、日本共産党参議院議員・副委員長の田村智子さんが「女性の権利・ジェンダー平等の実現」



交流会で発言する加藤ユリさん

〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- ②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
- ③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

父、金森ひろたかのこと



「女性交流会」での発言 要旨

私の父は、治安維持法の犠牲者です。戦後は長い間、島根県の同盟の会長としておりました。父の逮捕の理由は、京大の医学学生の時、結核研究会に参加、福井県に調査に行き、結核が貧しい暮らしと関係がある社会問題であることをまとめて発表しましたが、これ等の活動が、社会主義実現のための予備活動だとして、治安維持法違反で逮捕され、1年2カ月のきびしい獄中生活をおくりました。獄中では、ロシア語を学び、私たちが子どもの登山用リュックに名字をロシア語で書いてくれ、それを今でも大切にしています。戦後は、貧しくて医者にかかれぬ人など良く往診していました。私は、看護婦さんなど15〜6人の

大家族の中で育ち、家には何時も父の友人などたくさんの人達が入り出していました。こうして分け隔てなく接する両親のもとで、いつも誰かが家に来て、お茶を飲んでくれるような家庭でした。だから、誰に教わるわけでもありませんでしたが、人を大切にする、差別しない、個人の尊厳を守ることなど、無言のうちには教わったと思います。

この度、私は埼玉県の会長の重責を担うことになりました。先日、前会長の矢島恒夫さんと副会長の3人であいさつ回りを兼ねてカンパのお願いに伺いました。矢島前会長のねぎらいと私が治安維持法の犠牲者家族であることも話題になりました。あらためて、国賠同盟の意義と運動を引き継いでいくことの大切さを痛感しているところです。そして父の名誉回復のためにも頑張らねばと思っています。

また「我が青春つぎるとも」の上映運動の中ではじめて治安維持法のことを知ったなどの感想が寄せられています。上映運動の中で力を出していた女性たちに呼びかけ学習会など計画し女性部確立をめざしたいと思います。

第31回全国女性交流会に参加して「同盟になぜ女性部が必要か」大石女性部長の論文を読み、埼玉でも女性部前進のために力を尽くしたいと思います。



【交通】秩父鉄道長瀬駅下車、徒歩60分
長瀬市下木向

事件探訪 第15回 大野福次郎の墓碑 篠田 健一

大野福次郎は長瀬町風布在住で事件当時三三歳、妻と二男一女と母の六人家族。
明治一七年九月中旬、飯塚森蔵がやつてきて上吉田村の会合に来るよう言われた。その後、誰から連絡を受けたか定かではないが、下吉田村の井上善作宅に行った。善作は、ここでは話ができないので千鹿谷温泉まで来てくれというので、そこに行った。

ここで初めて高岸善吉、井上伝蔵、落合寅市らに会った。この会合では、貧民が高利貸から責められるのを見るに忍びなく、自分たちが各村の総代となり、債主を説諭するよう警察署に嘆願するので各村の借金ある者は一切書付にして九月二十九日に大宮郷平野屋旅館まで持つてくるようにとのことだった。

福次郎は帰村すると、大野苗吉と共に自村をめぐり、二四、五名を組織して書付を持って大宮郷平野屋に行くのである。
ところで、福次郎は千鹿谷において井上伝蔵より自由党入党せよと言われたので入党した。そして伝蔵が言うには、貴殿の村で入党したい者があれば、貴殿が保証人となり入党させよと言われ、入党書面の雛型まで与えられた。福次郎はその後、森田稲造と共に蜂起直前の数日間四九名を入党させた。
一〇月三十一日、風布村をはじめ近村の農民が寄居側風布の金比羅で神社に集結して下吉田村棟神社に向かつて行動を開始するが、先発隊は福次郎たち一人であった。だが、下田野村の「おんだし河原」で福次郎らは警官隊につかまってしまう。福次郎が所持していた書類「暴徒加盟者名簿」「自由党员名簿」「借金名簿、質入金高品数数記」を押収された。明治一八年一月、浦和重罪裁判所は福次郎に懲役七年六月の判決を言い渡した。大日本帝国憲法公布の大赦で出獄し、その五年後死去した。「信学宗心信士霊位」が戒名。戒名が神仏混合になっているのは、福次郎が仏門に身を置きながら釜伏神社の世話人であったからである。

歴史から ご存知ですか？ 埼玉で起きた、幻のクーデターを 「救国埼玉青年挺身隊事件」とは……

編集部に1冊の本が届けられた。幻のクーデター、2・26前史(猪又明生著・1999年版)である。
昭和8年、熊谷市において大がかりなクーデター計画が発覚、その決行前夜に一味が県特高課並びに熊谷署に逮捕された事件が「救国埼玉青年挺身隊事件」である。政財界の要人暗殺をもくろんだこの事件を、新聞各社は号外を出して大々的に報じた。3年後に起きた二・二六事件の前史ともいわれる事件だが、詳細な記録は残されていない。本書は、この「幻のクーデター」の全容をたんに調べ、腐敗した社会構造を改革せんとする憂国の若者たちの心情を追うドキュメンタリーである。

時の政府は、治安維持法で徹底して「戦争反対」勢力を弾圧して侵略戦争を押し進めた。一方、昭和維新を掲げた若手将校によるクーデター未遂事件は、結局は軍部の力を強め、戦争推進の役割を果たす事になる。「戦争か平和か」の岐路に立つ現在、あらためて歴史の真実から何を学ぶかが強く求められている。

短歌
アベ政治の軍拡レール走る首相
福祉削られ身細るわれら
イチョウ並木切り倒しても金儲けやめぬ政治家日本にいらぬ
川口市 宮地 さか枝

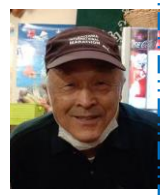
俳句
澄みわたる冬空白き月一つ
昔は小屋今は鉄筋ビルの駅
春日部市 浅子 薫衣
あそびたい稲わらロール秋田圃
行田市 大野 辰男
反戦の人の墓なり秋歩く
さいたま市 小池 莊市

川柳
物価高アベノミクスの為せる業
更迭は一緒日銀総裁も
春日部市 福家 駿吉

*投稿者のみなさん一年間ありがとうございました。来年もよろしくお祈りします。

「軍事費を削って、暮らし応援にまわせ」「戦争させない！埼玉の会」が浦和駅頭で「金曜宣伝行動」……

「国賠同盟」も構成団体の一翼を担っている「戦争させない！埼玉の会」は、毎週「金曜宣伝行動」を続けていますが、11月18日の浦和駅東口は大変盛り上がりしました。
この日は、ギター、三線、ハーモニカ、うたごえも響かせて賑やかにアピール……。



ハーモニカとの出会い、そして積極的に気軽に演奏 橋本 静修 (県同盟理事)

新聞店に住み込み学生を兼ねていた20歳頃、ギター購入時から楽器店主と長く交流していた。待ち望みやつと授かったお子さん、お店も賑わっていた。苦学の末、運よく努力の甲斐もあり教職に就くことが出来た。同じK市内の中学校に赴任。3年目にお店の学区内中学校に異動。そこに彼が入学し、見かけるようになった。お店を閉じる時が来た。店主から「好きな楽器があるかも知れない、あげるからおいで！」との電話があり馳せ参じた。10穴のハーモニカ(ブルーストーン、以下BH)を頂いた。自室のソファ演奏を経験。S市に移住した2016年4月以降は、匠ボランティアに登録。依頼に応じて1年に延べ200カ所余を巡りお届けしてきた。
200カ所余を巡りお届けしてきた。友人S.A氏(当時、伊豆高原でペンション経営)のメッセージ入りの画がお互いに気に入っていた。BHの名手Y.A氏(BH教室を主宰)とも知り合い、私自身もBHを吹くようになった。
定年より3年早く教員生活を終了。映画「男はつらいよ」の寅さんの生活がしたい！自由気儘な生活に魅かれたからだ。相部屋の安宿、ウーフ体験(ボランティアで労働力を提供、受け入れ先が食事と宿泊を用意)は人々との交流に最適だ。そんな旅を、国内を手始めに、海外(米、豪、新、加、そして韓国で交流を楽しんできた。バッグには常にBHを忍ばせ、機会を見つけたら、40年近く住み慣れたK市では、移住する1〜2年前複音ハーモニカを知り友達と福祉施設でボランティア演奏を経験。S市に移住した2016年4月以降は、匠ボランティアに登録。依頼に応じて1年に延べ200カ所余を巡りお届けしてきた。
国賠同盟理事となり、先人の偉業を広く伝え仲間を多く迎え入れるという使命感、戦争と暗黒政治を許さない！の声を、自らが発信できるSNS活用を広め、推進したい。

リレートークでは、コロナ禍や円安・物価高で国民のくらしが大変なときに、「国力としての防衛力を総合的に考える懇談会」では、軍事費を増額するともに、「その財源を国民に負担させよう」と話し合っていることを紹介。「軍事費を削って、くらし応援にまわせ」と訴えました。
この日も「憲法ティンジュ」の受け取りがよく、30分間の行動で用意してきた80個を、瞬く間に配り切りました。



熱風

映画「わが青春つぎる」とも「完成し、上映運動が始まってから半年が経過した。全国での上映運動は順調に進み、10月現在、鑑賞は、埼玉では目標の5千人を越え、全国では6万人を越すという▼この数字は自主上映の作品では驚異的な数字で、普通は何年もかかる数字を数ヶ月でやっってしまう凄事だと桂壮三郎監督は話してくれた。また、いい作品でないとは集まらない現状で、この高い上映実績は、作品が全国的評価を得たと言えるとも……▼確かに、埼玉の上映運動でも感じたが、観賞後のアンケートが非常に多いことが特徴で、全国的にも百人に対し3割位の人が書いてくれるとの事、普通は1割位だそうで、伊藤千代子をまったく知らなかった人も含め、千代子の生き方に感動し共感を広げていることは間違いない▼いま重要な事は「千代子が命を賭して未来に託した志」に「現代に生きる我々がどう応えるか」にあるのではないだろうか。それは、広がり始めた上映運動を更に広げて、むしろ2年間で数十万人の鑑賞者を作り出す事であり、その中で、「再び戦争と暗黒政治を許さない」ために日夜奮闘する「国賠同盟」の役割をより多くの人に知って頂き、強く大きな「同盟建設」を成功させ、同盟が掲げる「2020年代に治安維持法体制問題に決着をつける」歴史的な事業を成し遂げることにあると思う。(池)

